

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

新型コロナウイルス影響拡大

日吉台でも

イベント、行事など中止、延期相次ぐ

内でも新型コロナウイルス感染拡大。日吉台学区や中止が相次いでいる。学区内の主な団体によるイベント、行事など、新型コロナウイルスの影響をまとめた。

卒業式も規模を縮小

日吉台小

日吉台小学校は、3月3日から春休み前の24日まで臨時休校となった。同小では、児童に対し休校期間中、不要、不急の外出は控え、自宅で過ごす。手洗い、うがいの励行、咳が出たさいのエチケットなど感染防止策の徹底を呼び掛けた。休み中の子どもたちには、臨時休校で3学期に積み残した授業の学習プリントを配布、自宅で学習させた。

臨時休校中、大津市教委では、家庭で保護できない1、2年生の低学年児童に対し、学校で臨時預かりすることにしたが、日吉台小では、期間中、7、8人の児童が登校、学校で自習などをして過

ごした。休校期間中の3月19日、同小で実施された卒業式にも新型コロナウイルスによる影響が。いつもの6年生を送る会も中止、卒業式も来賓や在校生の姿がなく時間も短縮され、少し寂しい式になったが、18人が思い出の日吉台小を巣立っていった。

臨時休校で、学区内の公園では、子どもたちの姿が数多くみられた。一方、運動場や体育館の学校体育施設開放は3月24日まで休止。学区民の運動場や体育館の体育利用ができなくなりこちらは閑散としていた。

日吉台コンサート、秋に延期

5月17日に予定していた第7回日吉台コンサートも延期。日吉台コンサートは、日吉台市民センターは、日吉台市民センター大会議室を使用、毎回2

00人を超える参加があり会場は常に満杯状態になり新型コロナウイルス感染の危険性が生じると判断した。

延期となった第7回コンサートは、大阪フィルハーモニーの若手メンバーによる弦楽四重奏が計画されていた。メンバーの

学区社会福祉協議会は、3月に実施予定していた各種サロン、活動などを自粛し中止した。

老々連総会・5月20日

社協・サロンを中止

「高齢者対象シェアハウス設置したい」

空き家利活用で打診

全国空き家相談士協会

シェアを対象としたシェアハウス用の住宅物件を捜しています。日吉台学区に老人対象の「シェアコミュニティハウス」を設けたいという学区の空き家利活用にとつて興味ある構想が、一般社団法人「全国空き家相談士協会関西支部（馬場和実支部長）から学区空き家対策委員会に持ち込まれ

た。構想実現のためクリアしなければならぬ課題や壁は多いが、まずは対象となる住宅物件が日吉台にあるかどうか。構想を明らかにして住民

の反応をみることにしている。構想によると、「シェアコミュニティハウス」は、複数の高齢者が共同生活を行う高齢者シェア

中止したサロンは、4日、いきいき体操サロン▽11日、すこやかサロン▽18日、いきいき体操サロン▽25日、ふれあいサロン▽27日、おでかけサロン。このほか、25日、26日の寺子屋プロジェクト☆マナ☆ビバ28日の子ども食堂も中止した。また、4月のサロンなどについても中止を決めた。

学区老人クラブ連合会は、総会日程を大幅に遅らせ5月20日午前10時、日吉台市民センターで開

くことにした。同クラブでは、当初4月15日に総会を開催する日程で総会資料作成などの準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大で、イベント、集会自粛要請が出され、老々連としても行事や総会日程を見直すことにした。見直し案として4月22日に一週間延期する案、5月まで大幅に伸ばす案の2案が出され、単位老人クラブ等、老々連役員らと協議の結果、5月の開催を決めた。

書面評決での議決呼びかけ

新型コロナ感染防止で

4月19日 自治連合会総会

学区自治連合会（丸山郁夫会長）は、令和2年度自治連合会総会を4月19日、午前10時、市民センター大会議室で開催する。新型コロナウイルスの感染拡大の影響下、自治連合会は予定どおり4月開催とするが、3月21日の役員会で、総会参加について、感染拡大防止の観点から一般自治会員は書面評決での議決権行使の協力と呼び掛けることを決めた。今回の総会、新型コロナ

ナウイルスの感染の影響を考え、新旧役員ら総会出席者を必要最小限に絞り、一般自治会員は書面評決での議決参加を求めることにした。出欠回答

表には、意見欄を設け、必要に応じ総会終了後、ホームページや議事録補足資料などで紹介、回答することになっている。

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意（ビニール袋、水入りペットボトル）をしましょう。

大津市動物愛護センター

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球（40W電球相当）の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

高橋川沿いの桜も開花

日吉台のシンボル、高橋川沿いの桜も開花、新型コロナウイルス感染拡大で、沈みがちな住民の気持を少し明るくさせている。(3月30日午前撮影)



移植

日吉台幼稚園シンボルの木

開花

旧日吉台幼稚園園庭に植えられていたサクランの木が、認定こども園開設工事に伴い園庭東南角に移植、関係者の願いが実って根付き3月15日ごろいつもより早く満開となったⅡ写真。

市立日吉台幼稚園は、跡地に認定こども園が開設されることになり開園、幼稚園園舎も2019年度に解体され更地になった。同園園庭には、古くから園児や父母らに親しまれていたシンボルのサクランの木が植えられ

ていた。

毎年、5月の結実期に見事なサクランボを実らせていたが、園舎解体に伴い他の園庭の樹木とともに伐採される運命に。卒園生の父母らから「シンボルのサクランボだけでも日吉台幼稚園の思い出に残して欲しい」との声があがり、学区で認定こども園の設置、開設などの諸問題に取り組む「学区教育を語る会」が市側と折衝、園舎解体工事に合わせ園庭南東隅に移植された。移植後、根付きが心配されたが、願いがかなって開花、園児の声もなくひそつりとたたずむ園庭で可憐に咲き誇ってくれた。語る会では、このままゆけば5月半ばには見事なサクランボの実をつけるのではないか、とみている。

日吉台小卒業生

スクールガードに手袋贈呈 見守りに感謝

卒業生が贈った
刺繍入りの手袋



登下校時の安全など子どもたちの見守り活動をしてきた学区自主防犯推進協議会スクールガードの人たちに、本年度の日吉台小6年生の卒業生が、6年間の感謝の気持ちを添えたえるメッセージを添え手作り刺繍した手袋を贈ったⅡ写真。

同小の今年の卒業生は18人。プレゼントしたのは家庭科の授業時間に、市販の手袋に子どもたちが刺繍したもの。

毎年、同小では6年生を送る会で、見守り活動に感謝して座布団や小物入れ袋などを贈っている。今年は、新型コロナウイルス

ルスの影響で、学校が臨時休校になり、6年生を送る会ができなくなり、熊川芳彦校長の感謝の手紙、子どもたちのメッセージを添えて山下英子・自主防犯推進会長に届けた。自主防犯推進会では、子どもたちの安全を見守るスクールガードの会員を募集している。問い合わせは山下会長(090-2116-0832)まで。

自主防犯推進協議会は、4月4日、午前10時、市民センターで令和2年度総会を開催。5日に予定していた恒例の「花見の宴」は、中止する。

ガレージ賃貸借交渉初の成立

空き家対策委

学区空き家対策委員会が行うガレージ斡旋事業で、4丁目西地区の住民が募っていたガレージの借り手が見つかり、ガレージ所有者と借り手の間で賃貸借交渉が成立した。

昨年から始めた同対策委のガレージ斡旋事業で賃貸借交渉が成立したのは初めて。

学区内では、マイカーを複数所有する世帯が増加しているが、学区の住宅地では1台しか駐車できない車庫が多い。最近、複数のマイカーを所有する住民から学区空き家対策委に学区内で空きガレージを捜してほしいとの声が寄せられ、空き家対策委が、活動の一つとして、学区内の路上駐車を防ぐため、学区住民の戸建て住宅敷地内で使われなくなったガレージを車庫として使うあっせん事業を始めた。

交渉が成立したのは、

4丁目西の日吉台診療所近くの高橋川沿いの住宅のガレージ。3月号の日吉台新聞に掲載されたガレージの借り手募集の記事を同じ4丁目西地区の住民がみつけ、空き家対策委の濱崎博事務局長に連絡。借り手とガレージ所有者が話し合い、賃貸借の話がまとまった。空き家対策委のガレージ斡旋事業では、同じ4丁目西地区の集会所近くの民家でも空きガレージがあり、こちらのガレージでも引き続き、借主を募っている。

駐車料金は有料。料金については、借主、貸し手が協議して決めることになっており、対策委が双方の協議にアドバイスする。詳細についての問い合わせや申し込みは、学区空き家対策の濱崎事務局長(090-1505315455)まで。

分団員を募集

創立25周年の日吉台消防分団

気候変動による大規模災害や巨大地震災害が懸念されるなか、学区の防火、防災活動に尽力する大津市消防団日吉台分団(坂口修一分団長)は、消防団活動に理解を求めるとともに意欲ある入団希望の団員を募っている。

同分団は、今年発足25周年を迎える。平成4年4月、有志20人が日吉台分団設立準備のため坂本学区の坂本消防分団に入

団して活動開始。その後平成7年4月、坂本分団から独立し日吉台分団が発足した。現在29歳から最高齢64歳の団員があり、団員の平均年齢は40歳前後。自営業、会社員、公務員などさまざまな職種

火啓発活動がある。また災害発生時には、消防署と連携し各種訓練を活動した緊急活動をしている。同分団団員は定員28人

対し現在23人が在籍しており、5人欠員。日吉台住民の高齢化で慢性的に欠員状態が続く、さらに分団員は職業を持つているため昼間不在のことが多い。団員集めは、現役団員が口コミや知り合いを頼りに入団してもらっ